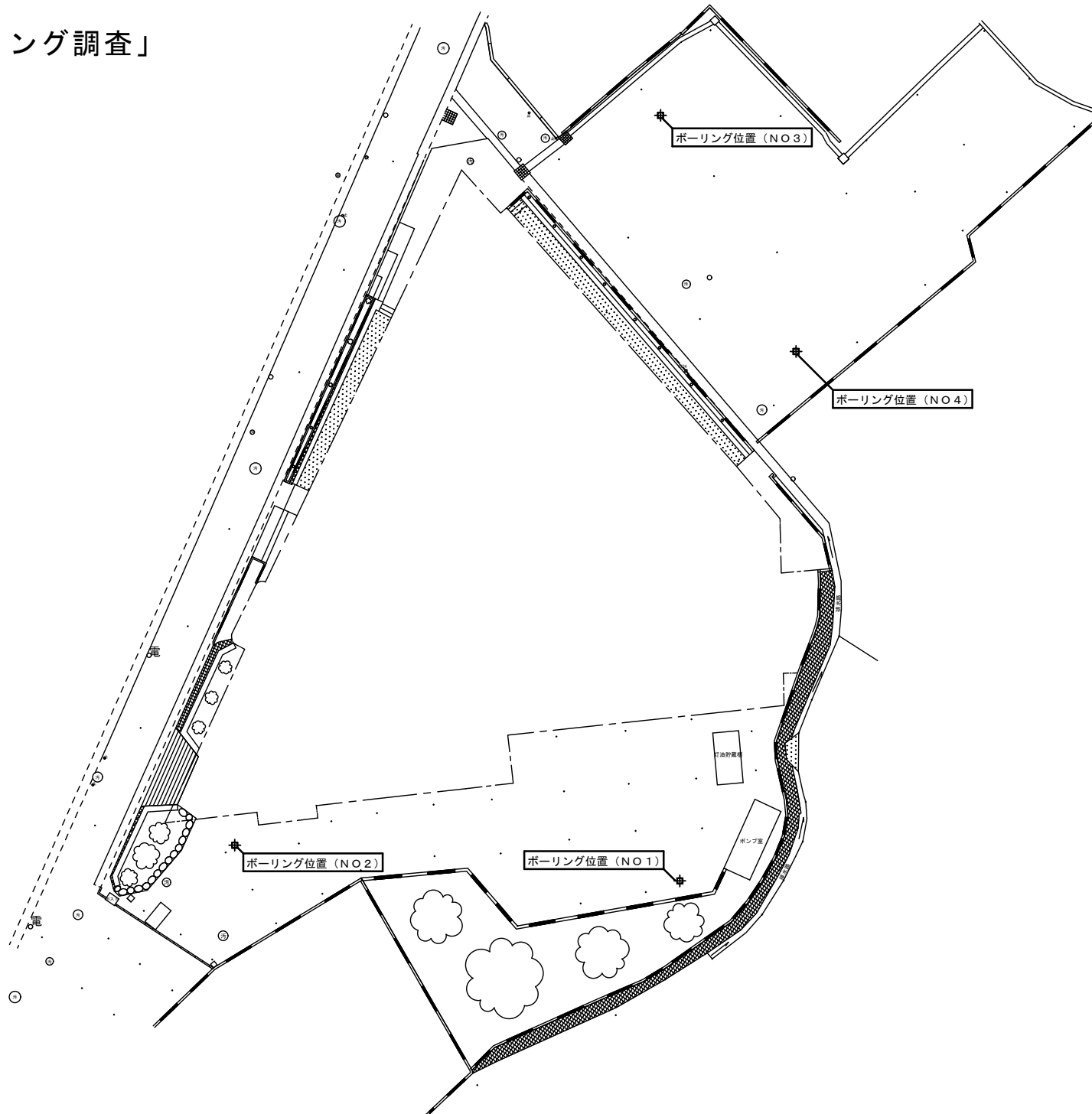


別紙④資料「ボーリング調査」



凡	例
	ブロック塀
	コンクリート
	石積み
	側溝
	ボーリング位置





# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名 八汐荘建替計画(土質調査業務)

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No. 3		調査位置	沖縄県那覇市松尾1-6-1地内			北緯						
発注機関	社団法人 沖縄県教職員共済会			調査期間	平成 25年 1月 20日 ~ 25年 1月 20日			東経					
調査業者名	株式会社 沖縄探査開発 電話 (098-897-7074)		主任技師	現場代理人	ア 与那嶺 善政 鑑定者		ボーリング責任者	与那嶺 善政					
孔口標高	EL=6.80m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 YBM-05D エンジン NFD10	ハンマー落下用具	半自動式	ポンプ	YS-551
総掘進長	9.38m												

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日	
											10cmごとの 打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10	20								
1	5.90	0.90	0.90		埋土	淡黄褐色			上部5cm程アスファルト。深度-0.05m~-0.30m間は、路盤材。深度-0.30m~-0.90m間は、暗褐色の粘土による埋土層。	1/20 1.70	1.15	1	1	2	4							
2	4.80	1.10	2.00		粘土	暗黄褐色		軟らかい	島尻層を起源とする粘性土を呈する。(洪積土) 中含水比。		1.45				30							
3					礫混じり砂質粘土	暗褐色		中くらい~非常に密	島尻層を起源とする砂質粘土を呈する。(洪積土) 高含水比。礫は、φ2mm程の砂岩礫主体。所々に、炭化物や腐植物を混入する。		2.15	1	1	1	3							
4	3.00	1.80	3.80		風化泥岩	暗黄褐色		非常に硬い	第三紀島尻層風化泥岩 中含水比。吸水による軟化を受け軟質化する。		2.45				0							
5	1.80	1.20	5.00		砂岩	暗灰		非常に密な	第三紀島尻層砂岩 低含水比。非常に密な均等粒度の細粒砂岩 (セ) を呈する。所々に、泥岩を挟む。		3.00				0							
6											3.50				50							
7											4.15	12	12	16	40							
8											4.45				30							
9											5.15	16	16	19	51							
10											5.45				51							
											6.15	20	28	12	60							
											6.39	60			75							
											7.15	5			360							
											7.20											
											8.15	50	10		60							
											8.26				164							
											9.15	21	29	10	60							
											9.38			3	23	78						

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名 八汐荘建替計画(土質調査業務)

ボーリングNo.   

シートNo.

ボーリング名	No. 4	調査位置	沖縄県那覇市松尾1-6-1地内			北緯	東経
発注機関	社団法人 沖縄県教職員共済会			調査期間	平成 25年 1月 20日 ~ 25年 1月 20日		東経
調査業者名	株式会社 沖縄探査開発 電話 (098-897-7074)	主任技師	現代場人	コ 鑑 定 者	与那嶺 善政	ボーリング 責任者	与那嶺 善政
孔口標高	EL=7.80m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	8.24m	使用機種	試錐機	YBM-05D		ハンマー 落下用具	半自動式
		エンジン	NFD10		ポンプ	YS-551	

